平成27年10月9日
三条市地域自立支援協議会 参考資料2

三条の障害者福祉の象徴に

長久の家建設工事安全祈願祭

三条市西本成寺一、障がい者居住支援拠点施設長久の家の建設工事安全祈願祭が、十六日午前九時から同地内で執り行われた。

同工事は、長久の家利用者の生活環境改善と居住支援、余暇の支援を充実させることで拠点施設としての強化を図ろうと、現在の施設周辺に新たな施設を建設するもので、工期は今月から来年三月末まで。

新しい施設は、鉄骨造二階建てで、延べ床面積は九八一・三四平方メートル。定員は十九人で、利用者六、七人を一ユニットとし、一つの生活空間とすることで、より集団的、家族的な生活の中での調和を図っていく。

また、施設内には余暇活動支援センターや相談支援事業所、職業・生活支援センターを設け、余暇の居場所づくりや生活上のさまざまな悩み事の相談を行うとともに、居住支援の拠点施設として近隣のグループホームなどのバックアップも行い、「困ったときの駆け込み寺」のような役割も担う。

安全祈願祭では、三条八幡宮の藤崎重康宮司によって粛々と神事が執り行われた後、長久の家を運営する社会福祉法人県央福祉会の碁石学理事長があいさつ。出席した行政、施工業者など関係者に感謝の意を表した上で、新しい施設について「地域で生活する障害者の方に、今以上に大きな夢や喜びが広がるような地域生活、社会活動実践のためのしっかりした生活の基盤づくり、それを支えるさまざまな相談や援助、利用者の地域活動の場を拡大するための組織力・機能がフルに発揮できる施設に発展させていきたい」と述べた。

碁石理事長

國定市長

國定勇人市長は、祝辞で三条市における今後の障害者福祉施策の方向性について「グッディいきいきサポートセンターと、この長久の家を軸とした障害者支援を展開していく」とし、「新しい長久の家には、本市の障害者福祉施策の象徴として、一日も早い完成をご期待申し上げます」と述べた。

最後に、施工業者を代表して㈱水倉組の水倉直人社長は「本工事を通して、社会福祉に貢献できることを大変ありがたく思っている。事故に十分注意を払い、各社の技術をいかんなく発揮し、誠心誠意良質な施工をして、引き渡しをしたい」と述べた。（山口）

水倉社長

ことしはシークレットライブも

うらだての里いきいき祭り

社会福祉法人県央福祉会が運営する三条市東裏館三、うらだての里は、十三日午後二時から、同施設を挙げての一大おたのしみイベント「うらだての里いきいき祭り」を開催した。

施設職員と施設利用者とその家族、地域住民などの交流を図るために行っているもので、ことしもエントランスでのステージイベントでオープニング。

同法人の障害福祉サービス事業所、いからし工房による太鼓演奏やにじいろ保育園の鼓隊の恒例の演奏に加え、ことしはサプライズとして同施設職員によるうらだてバンドが登場。「あしたがあるさ」の演奏でイベントを盛り上げた。

作った作品の販売を行ったほか、飲食コーナーも充実。開始直後には綿あめやアイスクリームには長蛇の列ができていた。

このほか、介護相談や事

蛇の目

巨大な東京（1）

予定の美術展巡りプラ

都心の会場、駐車場完

日本の政治、経済の中心地であり、世界に開かれた東京ではあるが、あまりにも目まぐるしく変わる都市のエネルギーに、行くたびに翻弄されている気がする。

一年に何度か、横浜市など神奈川県や千葉県、埼玉県など隣県も含め、美術館、博物館などを中心に巡っているが、面積的には狭い東京と思いながらも、数年ぶりに訪ねた美術館の周りが大きく変わっているとか、あれ、こんなギャラリーができているという具合で、今月五日に訪ねた今回も、五年ぶりに訪ねて、初めて知るというようなこともあって、目まぐるしかった。ある意味、巨大な東京という印象を強くした。

当初の予定では、パナソニック汐留ミュージアムで

館の全面改
されてから
朝香宮邸跡
術館で開か
ル・デコの
築にみる

ル・デコに
クターた
ン内り

新三条歳時記

岩淵

商品・部品を生産する際に出る廃材を呼び、それを使った作品展「プランキトイ」が開かれている。寡聞にして知らなかった。回目だという。

廃品や不用品を使っておもちゃを作る昔からあった。木工屋を取材した時、ないと創意工夫・遊び心が結びついて、ユニークな作品が生まれたりする。

地場産と燕三条Wingで開かれてグアートもその一つだろう。「モノづく結びついたアート作品だ。

今回の出展メーカーは十八社あってるほど）と感心させられる作品である。

電球の卵を金型加工で使われた真鍮だ「鳥の巣」は、ワイヤーの持つ融通

出展は企業に限らず個人や大学にも岡技科大の分解アクセサリーは、電卓解部品を小さなケースに封じ込めて、アクセサリーに仕立てた。ペットボトク人形など、個人で作った楽しい作品の蓋を利用し、錆びた鉄板を盤にした

県央

三条総局　〒955-0092　三条市須頃2-89
0256(33)0408
FAX(33)3347

三条市

障害者就労促進へタッグ

民間、4社会福祉法人と協定

障害者の雇用促進や賃金向上に向け、三条市と情報通信システム設計などの「アイエスエフネットグループ」（東京都）、市内四つの社会福祉法人が3日、支援協定を締結した。障害者の仕事確保や生産品の販路拡大、就労訓練などで相互連携する。同グループは来年4月、同市の「三条ものづくり学校」に事業所を設け、障害者の直接雇用も行う。

障害者の雇用促進に向け、協定を交わした関係者＝3日、三条市役所

事業所開設 直接雇用も

協定を締結したのは、市と同グループのほか、県央福祉会、市手をつなぐ育成会、ひめさゆり福祉会、青空福祉会の各社会福祉法人。同グループは障害者雇用を積極的に進め、パソコンのデータ入力やコールセンター業務、カフェの運営を全国で展開している。これまで県、新潟市とも協定を結んでいるが、社会福祉法人との締結は初めて。

ものづくり学校には、同グループの「アイエスエフネットライフ新潟」（新潟市中央区）が事業所を設置し、身体、知的、精神の障害者らを雇用する。2016年度は約20人の雇用と約30人の就労訓練を予定し、数年内に50人以上の雇用を目指す。

市役所で行われた締結式には、国定勇人市長と同グループの渡辺芋義代表、各社会福祉法人の理事長が出席し、協定書を取り交わした。

国定市長は「障害者の自立に必要な経済基盤を整えるための第一歩となる」と意義を強調。渡辺代表は「雇用の現場を地元企業に見てもらい、実感を持って障害者雇用を進められるようにしたい」と抱負を語った。社会福祉法人からも「職業選択の幅が広がる」「継続的な雇用に結び付く」と期待の声が上がった。

また、同グループは生活保護受給者など、生活困窮者を対象にした就労支援の協定も三条市と締結した。

句作を競い 親睦深め

三条 県内愛好家100人集う

愛好家が句作を競った「県俳句実作者の集い」＝2日、三条市

県内の俳句愛好家が句作を競う「県俳句実作者の集い」が2日、三条市興野1の三条東公民館で開かれ、約100人が親睦を深めた。

県俳句作家協会が年1回県内各地で開催しており、ことしで49回目。

本県出身で俳誌「河」同人の小島健さんが講師を務め、参加者の句を講評。「俳句表現の多様性」をテーマに講演も行った。

小島さんは松尾芭蕉の句などを例に、音便や同じ言葉の繰り返し表現「リフレイン」などの技法の特徴や効果を丁寧に解説。「ユーモアや滑稽さを込めることもできる。俳句は人生を明るくする」と語った。この後、日常で起こる物忘れなどを題材にした川柳も紹介し、参加者の笑いを誘っていた。

事前に募集した句と、席題で詠まれた句の表彰も行われた。「稲」を席題にした句の発表では、たわわに実る稲穂の風景や、戦後70年に渡り平穏に稲作をできたことを喜ぶ句が詠まれていた。

三条市の農業、佐藤伊久雄さん（79）の入賞作「跡継ぎの無き稲刈を励みけり」は、農家の跡継ぎがいないことを詠んだもの。「息子はおらず、娘も嫁に行った。賞は励みになり、これからも明るく楽しく作っていきたい」と笑顔で話していた。

県内外の落語家が温泉まつりで一席

田上 来月3日

県内外の落語家が出演する全国社会人落語祭りが10月3日午後5時から、田上町コミュニティセンターで開かれる。

田上町観光協会が主催し、9月12日～10月3日に開催される「第6回湯田上温泉温泉まつり」の一環。新潟市の水都家艶笑さんら10組が出演する。

木戸銭千円。中学生以下は無料。未就学児は入場できない。チケットは田上町観光協会や湯田上温泉のホテル、旅館などで販売している。問い合わせは田上町観光協会、0256（57）6255。

田上9月定例会

8日から18日間

田上町議会は3日、議会運営委員会を開き、9月定例会の日程を8日から25日までの18日間と決めた。

日程は次の通り。

8日　本会議（議案上程、一般質問など）▽9日　本会議（一般質問）▽11日　総務産経常任委員会▽14日　社会文教常任委員会▽15～17日　決算審査特別委員会▽25日　本会議（採決など）

匠の駅

「ものづくり」楽しんで

や体験活動

を目指す

いる。同市鉄工町2の活用。地元の大学生がったり、中学生が体験活りするなど利用が広が

表を務めている。

一般は月額千円、小中高生なら同500円を払えば、旋盤や研削盤から塗装装置まで約40種類の作業機械が使えるほか、測定装置などの設備も提供する。岡部さんが工場内の機械メンテナンスや掃除などを自ら手掛け、60年近い経験を踏まえて利用者にアドバイスもする。施設名は「道の駅」などにちなんだ。

今春のオープン以降、長岡技術科学大学生がロボット研究で熱心に通うようになったほか、長岡造形大の教員や学生が見学に訪れたり、中学生が機械を使った穴開けや金属コマ作りを体験したりした。

ロボット作りに没頭する技科大4年の寺嶋瑞仁さん（22）は「料金が格安で、スペースも広く助かる。集まる人たちと交流もできる」と気に入った様子。8月には無線操縦ロボットなどを

山古志を巡って スタンプ集めて

4地区の店舗など29軒

数に応じ特産品

山古志地域の4地区ごとに用意されたスタンプ

スタンプ集めながら山古志散策を楽しんで！長岡市山古志地域の店舗や直売所を巡るスタンプラリーが10月31日まで行われている。

催し。山古志地域の種苧原、虫亀、竹沢、三ケ・東竹沢の4地区の店舗や直売所など計29軒で買い物をすると4地区ごとのスタンプ

10月末まで

台紙は各店舗や同市山古志竹沢の「やまこし復興交流館おらたる」、アオーレ長岡などで配布している。実行委員会は「スタンプラリー

沢地区は闘牛となっている。

3種類集めると力グラナンバン加工品や入浴券などが漏れなくもらえる。4種類すべて集めると、10人に山古志産牛肉などが当たる抽選に申し込むことができる。

スタンプの

越後ジャーナル

発行所 ㈱越後ジャーナル社
新潟県三条市西本成寺2丁目13-35
営業：西4駅きくら新道
TEL (0256)35-2290
FAX (0256)35-3575
E-mail echigo@kiss.ado.ne.jp

購読料 1か月 1080円
1部 50円
(いずれも税込み)

ホームページ
http://www.paige.com

情報は☎35-2290
㈱越後ジャーナル社

障害者雇用に道筋、収入アップへ

生活困窮者等支援も協定

アイエスエフネット、4社会福祉法人、三条市が締結

県央福祉会、三条市手をつなぐ育成会、ひめさゆり福祉会、青空福祉会の三条市内四社会福祉法人と、東京都港区に本社を置く1T関連企業アイエスエフネットグループ、三条市の六者が障害者就労支援に関する協定を締結し、きのう三日、三条市役所で調印式を行った。アイエスエフネットグループと三条市は同時に生活困窮者等就労支援に関する協定も締結した。

地域に根を張り障害者支援を行ってきた社会福祉法人と、障害者雇用に率先して取り組む企業、行政が連携することで、障害者の就労における選択肢を増やすことや、工賃、収入を増やして生活基盤を確立、「親亡き後の支援」などの課題を克服することなどが狙い。

一般就労や工賃アップを目指すなど就業を重視する「企業的な環境での就労支援」では仕事の確保などが課題で、これを同社が補い、「福祉的な環境での就労支援」などを行う各社会福祉法人と連携する。市は両者の調整支援や財政支援を行う。

来年四月以降、同社グループの㈱アイエスエフネットライフ新潟三条事務所を三条ものづくり学校内に開いて初年度で約二十人を雇用する予定で、「今までの流れからすると、三年で五十人から百人くらいになる」とアイエスエフネットグループ代表で㈱アイエスエフネットの渡邊幸義社長。

地元企業が障害者を雇用するきっかけづくりも意識する。渡邊社長は「我々が出てくると、このエリアの企業が障害者雇用を始める。雇用の現場をつくり、企業が（障害者も）働けるという実感を持つ場をつくる」、「どの会社でもできるような事業モデルを切り出していく」とし、雇用の現場を地元企業に公開する方針。

地域全体で障害者雇用を促し、障害者を雇用した企業からの情報を社会福祉法人、特別支援学校などに反映させる仕組みづくりを目指す。身体障害、知的障害を念頭に制度設計された現行法制では不足がちとされる、発達障害、精神障害の支援充実に向け、連携を生かして国への働き掛けも加速させる。

グループで四百六十人の障害者を雇用し、職業訓練などでは一千人を抱えるという同社。新潟県や新潟市とも協定を締結しているが、社会福祉法人を交えた協定の意義を「少し時間が掛かる人たちを、時間を掛けて雇用まで持っていく。このために企業と社会福祉法人の連携が絶対必要」と強調した。

人口減少社会も念頭に、障害を持っていても働く意欲を持つ人たちを労働力として迎える基盤を整える。生活困窮者就労支援でも生活保護を受ける人たちを「納税者に変える」とする。

國定市長は障害者就労支援の協定に「いの一番は自立のための経済基盤を整えること、工賃、給料水準を図ることが各主体の共通目標。来年四月以降、ものづくり学校を拠点に、背広を着て闊歩（かっぽ）する姿を夢見ていきたい」と期待を寄せた。

各理事長も協定に期待を寄せ、県央福祉会の碁石學理事長は「年齢、特性、能力に応じた働く条件の整備によって、障害者の方々の働く機会が拡大されたり、仕事内容が広がっていくことに期待する」。

三条市手をつなぐ育成会の鈴木守男理事長は「当法人では就労継続A型のサービスを提供しているが、雇用契約を結び、最低賃金法をクリアするため、継続的に仕事を確保するのは非常に難しく、協定は本当に心強い。市内には月ヶ岡特別支援学校があり、この生徒たちの卒業後の進路の幅も広がる」。

ひめさゆり福祉会の清水昭理事長は「四法人が手を取り合い、全力を尽くして軌道に乗せられるよう願っている。取り組みが二十年、三十年と続き、子どもたちの幸せが少しでも感じられるように」。

青空福祉会の岩本直久理事長は「アイエスエフネットグループには、精神障害を持った人が多く、精神障害に対する理解がある会社と感じている。就労継続が困難な面もあり、長く雇用していただくことに期待を持っている。また、ともしび工房の製品販売にも力を貸していただければ」などと、それぞれ述べた。

生活困窮者等就労支援でも、市と連携して同社が対象者の就労機会を確保するなどで、生活困窮者、生活保護受給者の自立を促す。

こちらでも同社は「三百治体、百五十人の生活困窮者の雇用の実績」があるといい、「今の生活保護受給者の三〇％くらいは雇用に持っていけるのでないかと思っている。生活保護受給者を納税者に」などと渡邊社長。

（外山）

4車線化へ弾み、一足早く供用開始

善久寺地下横断歩道完成を祝う会、栄中央小児童手づくり

三条市栄地区の国道8号線善久寺交差点改良事業に伴い新設された善久寺地下横断歩道が竣工し、きのう三日午後二時三十分から地元の三条市立栄中央小学校児童手づくりの完成を祝う会を開催して、交差点よりも一足先に供用を開始した。同交差点改良は来年三月竣工予定。

善久寺交差点改良は、交通安全対策事業として右折レーンを新たに設置して、同交差点を四車線化するもので平成二十年度から事業を実施している。

新しい地下横断歩道は交差点の拡幅に合わせて延伸する必要があったことと、昭和五十五年十一月竣工の旧地下横断歩道の老朽化により、平成二十四年から整備してきた。全長は約五十二mから六十四mとなり、出入り口は透明な強化プラスチックの屋根、LED照明を配するなどで、旧来よりも明るく、見通しの良い地下横断歩道とした。幅員は三mで変更なし。出入り口と歩道内の五カ所に警察署直通の警報ブザーが設けられている。

栄中央小学校、三条市立栄中学校の通学路になっていて、合わせて八十人ほどの児童、生徒が通学で利用している。完成を祝う会は、栄中央小学校の児童のうち同地下横断歩道を利用する児童五十人ほどが、くす玉やテープカットのテープを手づくりし、司会進行役も務め、国土交通省、三条市、栄商工会、地元自治会の関係者や児童の保護者ら八十

2面へ

最大放射線量
三条市 南四日町
9月 2日
0.10 マイクロシーベルト/時

きれいな地球で暮らしたい。

TOYAMA GROUP
外山産業株式会社
外山工業株式会社
㈱グリーンライフ
㈱ゾッツ

三条市合併10周年記念事業並びに
三条市体育協会合併10周年記念
第11回 市民総合体育祭
総合開会式
【アトラクション】
三条市空手道連盟　少年少女空手演武
9月5日(土)
午後6時30分
三条市総合体育館
三条市体育協会

切れ味のもう一歩先へ
藤次郎株式会社
平成27年7月1日より、「藤寅工業株式会社」は「藤次郎株式会社」に社名を変更いたしました
http://tojiro.net/

We'll love our EARTH
総合電気設備工事
株式会社 大原電機商会
三条市東三条2-18-26　TEL 38-5721　FAX 38-4671

さんしんのキャッシュカードで
さんしんのATMをご利用頂いた場合
ATM入出金手数料が
¥0 無料 いつでも
※振込については、所定の振込手数料が必要となります。
※コンビニ、他金融機関をご利用の場合、所定の手数料が必要です。
さんしんは、27店舗に43台（店舗外ATM｜イオン三条店・済生会三条病院｜を含みます）のATMを設置しております。
さんしん 三条信用金庫